

科の特徴

当科は肝疾患（急性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎、肝硬変症と合併症、肝癌、肝内胆管癌、その他肝障害など）を中心に内科学会・肝臓学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・感染症学会の指導医、内科学会・肝臓学会・消化器病学会の専門医を含む4名で診療を行っています。

2016年は肝癌治療（RFA・TACE・TAI）122例、食道静脈瘤治療（EVL・EIS・BRTO）24例、肝生検・肝腫瘍生検27例を始め、肝膿瘍・肝嚢胞ドレナージなどを行いました。

外来ではC型慢性肝炎に対し経口薬によるウイルス除去治療を積極的に施行、2017年7月末までにHCV 1型に対し168例、HCV 2型に対し77例の治療導入を行いました。また、近年増加している進行性の非アルコール性脂肪性肝疾患について、肝硬変、肝癌への進行の遅延を図るため、できるだけ肝生検で診断し、栄養療法や瀉血療法を取り入れています。

定期的な検討会、患者に対する肝臓病教室の開催、肝疾患の診療に関する学会、講演会、研究会等への積極的な参加、地域における病診連携の推進を基盤とし、小人数ならではの協力体制を重視しつつ楽しく仕事を行う事をモットーとしています。

一般目標

各種領域を含む内科患者の診察、検査、診断、処置ができる。その中で特に肝疾患を中心とした患者を受け持ち、肝臓病学の知識、技能、判断力を養い、診断学、内科的治療と処置能力を修得する。

行動目標

- 1) 患者様、ご家族に配慮した医療面接（問診、Informed consent）ができる。
- 2) パラメディカルスタッフや他の医師とコミュニケーションをとり、協調性を持って対処することができる。
- 3) 理学的所見（肝疾患では黄疸、肝脾腫、腹水の有無など）を正確にとることができる。
- 4) その所見から考えられる疾患と鑑別すべき疾患及び診断に必要な諸検査を列挙することができる。
- 5) 血液生化学検査（肝機能検査など）、肝炎ウイルス検査などから肝疾患の診断、現在必要な治療につき述べるることができる。
- 6) 画像検査（腹部超音波検査、CT、MRI、腹部アンギオ）の所見を述べ、考えられる疾患を述べるができる。
- 7) 超音波検査（腹部）を行い、評価することができる。
- 8) 超音波ガイド下の処置の適応とその合併症をあげ、介助および、一部行うことができる。
- 9) 各種穿刺法（腹腔、胸腔）の適応をあげ、実際に行うことができる。

- 10) 上部内視鏡検査を施行（介助）し、その所見および病気との関連を判断することができる。
- 11) 内視鏡的治療の適応を述べ、その注意すべき合併症をあげることができる。
- 12) 各種病態に応じた食事、輸液などの栄養管理、治療について理解し、実行することができる。
- 13) 肝疾患における内科的治療法の種類をあげ、その適応と他の治療法との比較ができる。
- 14) 診療録を遅延なく記載し、管理できる。

経験目標

- 1) 問診、視診、触診ができる。
- 2) 理学的所見の把握ができる。
- 3) 血液生化学検査の理解ができる。
- 4) 肝炎ウイルスマーカーの理解ができる。
- 5) X線診断ができる。
- 6) 超音波検査ができる。
- 7) CT・MRIの読影ができる。
- 8) 腹水穿刺ができる。
- 9) 胸水穿刺ができる。
- 10) 食道バルーンタンポナーデによる止血ができる。
- 11) 薬物療法ができる。
 - (1) 抗ウイルス療法（インターフェロン、経口ウイルス剤）
 - (2) 分岐鎖アミノ酸療法
 - (3) 抗癌剤治療
 - (4) 分子標的薬治療
- 12) 栄養療法ができる。

指導体制

- 1) 外来・病棟においては通常遭遇する疾患の診療にあたり、入院については症例が片寄ることなく、均等に担当できるよう指導医がわりあて副主治医として診療にあたる。
- 2) 救急患者の診療については、指導医・研修協力医とペアになり、当番になった夜間、休日の診療を担当する。

週間スケジュール

曜日	時間	予定
月曜日	9:00~12:00	内視鏡検査
	13:30~15:00	エコー下肝生検／肝腫瘍生検／ラジオ波焼灼療法(RFA) 食道胃静脈瘤結紮術(EVL)・硬化療法(EIS)
	15:00~	部長回診／画像検討会
	17:00~	肝疾患 病理組織検討会(月2回程度)
火曜日	9:00~14:00	腹部血管造影(AAG) 肝動注化学療法(TAI)／肝動脈化学塞栓術(TACE)／その他IVR治療
水曜日	9:00~12:00	内視鏡検査／食道胃静脈瘤結紮術(EVL)・硬化療法(EIS)
	13:00~17:00	エコー下肝生検／肝腫瘍生検／ラジオ波焼灼療法(RFA)
	18:00~	第3内科 カンファレンス
木曜日	9:00~14:00	腹部超音波検査／救急外来
金曜日	9:00~12:00	腹部超音波検査
	13:00~17:00	エコー下肝生検／肝腫瘍生検／ラジオ波焼灼療法(RFA)

定例研修会等

- 1) 病理組織検討会 (月2回)
- 2) 新患症例検討会・症例提示 (毎週水曜日) (肝臓内科 糖尿病・代謝内科 消化器科)

具体的な研修方法・留意事項

- 1) 研修医は担当患者の診療状況を常に指導医・研修協力医に報告し、病状の把握に独断のないように努めること。
- 2) 指導医・指導協力医の下、診療及び検査・処置を行う。
 - ・ 病棟・救急外来における診療で血液検査による肝機能の評価及び肝疾患の診断
 - ・ 画像診断として腹部エコーの習熟、CT、MRIの読影及び鑑別診断
 - ・ 局所麻酔下の経皮的処置（エコー下肝生検など）の介助（可能であれば術者として処置を行う。）
 - ・ 上部消化管内視鏡検査
 - ・ 内視鏡下治療（EVL、EIS）
- 3) HBV、HCV陽性の患者が多く、観血的検査・処置の際には針事故に十分注意すること。